

基本方針4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

重点目標 4-1	地域資料および古典籍の有効活用を図るとともに、大阪に関わる情報へのゲートウェイをめざして、データベースの拡充など、大阪のあらゆる分野に関する情報発信を強化します。			
評価	【評価の理由】			
重点指標	策定当初 23年度末	目標	25年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
大阪関係コンテンツアクセス数	459,831	毎年 460,000		
大阪文献データベース新規登録数	2,401	2,400		
講演会・展示会実施回数、参加者数		未定		
【アクション・プラン】				
平成25年度	平成26年度		平成27年度	
<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例公開・大阪文献データベースへのデータ登録の推進 ・「デジタル大阪ポータル」実現に向けた大阪文献データベースの機能強化の検討 				
【アクション・プランのねらい】（25年度当初に記入） <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例を積極的にインターネットで公開していくことにより、大阪在住の利用者にはもちろん、大阪在住以外の利用者にも、当館所蔵の資料の紹介や、大阪について調査する際の参考資料および調査方法を提示する。 ・大阪に関係する図書、地域誌、広報誌などで取り上げられた細かい事象に関する記事は、書名からの蔵書検索や、一般的な雑誌記事検索のデータベースでは調査することが困難である。大阪文献データベースにこれらの記事を登録し、データベースを充実させることにより、図書館利用者の調査の便宜を図る。 ・図書館情報システムのリプレースを機に、大阪文献データベースの機能強化の検討を行い、大阪のことなら何でもわかる「デジタル大阪ポータル」をめざした取組みを進める。 				